

報告日 令和 7年 1月14日(火)	報告者 吉武惇二
分科会名 古文書を読む会	開催テーマ：酒井伴四郎の江戸勤務日記
開催日時 令和 7年1月9日(木) 午前 10:00 ~ 12:00	開催場所 金沢公会堂第2会議室
参加人数 男性8名 女性3名 合計11名 (欠席者2名)	
<p>今月の酒井伴四郎日記の査読は、10月9日から20日まで進んだ。</p> <p>10月9日には青山大膳佐と水戸御城付との喧嘩があり、双方でけが人が生じたことが記されている。そして、水戸側には30人ばかりの加勢があり、青山は散々な目にあっただろう。また、13日の日記には近くで火事が発生し、3軒ばかり焼失したことが書かれている。</p> <p>ここで火事と喧嘩を取り上げたのは、江戸を表現する言葉として「火事と喧嘩は江戸の花」があるからだ。伴四郎がこのような言葉を知っていたかどうか不明だが、江戸は火事が多かったために、火消しの働きぶりは貴重だっただろうし、これまで伴四郎日記の中に、火災の記述が何度か散見される。一方、喧嘩は、正確には火消し組が分担する火事場の対抗意識からくる争いを指すようだが、一般的に江戸人の気性が激しかったことから、喧嘩となるが多かったようだ。</p>	
次回予定 令和7年2月13日(木) 10:00~12:00 場 所：金沢公会堂第2会議室 テーマ：酒井伴四郎の江戸勤務日記	